

才九篇才五章 戦争指導上の諸問題

目次

一、戦争指導機構問題

- 戦争指導機構の致命的缺陷
- 統帥に対する小磯首相の不满
- 小磯總理特旨により大本營に列す

二、陸海合同問題

- 宿命的陸海の対立
- 対立解消への努力
- 陸海合同に関する御下問と奉答

(橋本)

0291

才九篇才五章 戦争指導上の諸問題

本篇才一章の世界情勢判断に述べたように、今や日本は、開戦時夢
想だにしなかつた最悪事態に本土に於ける戦力戦争に直面しようとして
している。この国家危局の関頭に立つて、是非とも解決を要するにも
拘らず、しかも解決至難なものとして残されていた戦争指導上の工つ
の問題があつた。

その一つは、戦争指導機構の問題であり、他の一つは陸海軍合同の
問題であつた。この両者は、本質的には表裏一体の関係に於て考究せ
らるべきものであつて、当時に於ける戦争指導上のあらゆる施策の根
源をなすものであつた。

0292